



# アリス病児保育通信

## 「子育てサポートアプリ」での登録予約について

2026年7月  
45号

暑さが本格的になってきました。湿度も高く、体力を消耗しやすい季節です。新年度が始まって3か月が経ち、子どもたちも新しい環境に少しずつ慣れてきた頃かと思います。

夏は手足口病、ヘルパンギーナ、プール熱などの感染症が流行しやすく、乳幼児は体調を崩しやすい時期です。汗をかきやすく脱水になりやすいことや、食欲が落ちやすいこともあり、日々の体調管理が大切になります。

私たち病児保育室は、保護者の皆さまの不安や負担を少しでも軽くし、子どもが安心して過ごせる場所でありたいと考えています。体調の変化で迷うときは、無理に登園させず、病児保育室をご利用ください。

4月24日から大阪市の「子育てサポートアプリ」がプレリリースされ、当室でも活用を始めました。アプリでは授乳・睡眠・排泄の記録や地域の子育て情報の確認ができ、必要な情報にすぐアクセスでき便利な仕組みになっていますね。

病児保育室のページでは、事前登録に必要な情報をアプリ内で入力できるようになり、来室時の手書き記入の負担が軽くなりました。まだ導入段階ではありますが、保護者の皆さまの声を大切にしながら、秋の本格リリースに向けて当室も保護者の方がより安心して利用できる病児保育室を目指してアプリの活用方法の改善を続けてまいります。

暑さが厳しい日が続きますが、皆さまが少しでも安心して子育てできるよう、スタッフ一同、丁寧にサポートしてまいります。

現在、アリス病児保育室をご利用いただいた保護者の方には、利用満足度調査へのご協力をお願いしております。いただいたご意見は今後の改善に活かしてまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。





## 子どもの体温調節機能って!?

乳幼児期の子どもは、気温や室温など周りの環境の影響を受けやすく、暑い場所では体温が上がり、寒い場所では下がりやすい特徴があります。これは、体温を調節する機能がまだ未熟で、大人のようにうまくコントロールできないためです。同じ環境にいても、子どもの体温が急に変化しやすいのはそのためです。

体温調節の力を育てるには「汗をかく経験」が、とても大切です。ただ、近年は夏の暑さが厳しく、外遊びには熱中症の心配があります。春や秋など過ごしやすい季節には、外で体を動かしてしっかり汗をかく時間をつくりましょう。一方、夏や冬のように気温差が大きい季節は、室温の調整や衣服の工夫で、暑すぎ・寒すぎを防ぐことが大切です。こうした環境づくりが、子どもの体温調節機能を少しずつ育てていきます。

また、活発に遊んだ後や食事の後、眠くなっている時などは、一時的に体温が上がりやすくなります。お茶を飲ませる、静かに過ごせる遊びに切り替える、衣服を調整する、部屋の空気を入れ替えるなど、環境を整えてから少し時間をおいて再度測ってみてください。多くの場合、30分~1時間ほどで平熱に戻っていきます。

もし様子を見ても体温が下がらない場合は、体調不良や熱中症など別の原因が考えられます。早めに受診して、安心できる状態にしてあげてくださいね。

アリス病児保育室  
〒535-0022  
大阪市旭区新森4-13-17  
TEL：06-6952-4561

## 病児保育室の登録 していますか!?

“体調不良が続いてる” “もう仕事が休めない”  
どうしよう…となっても  
事前登録ができていないと利用できません!

### 【登録受付時間】

平日/10:00~11:00  
12:30~15:00  
土曜/10:00~12:00



←ブログ

### 病児保育の登録について

#### ・アプリで登録される方

ご予約をお願いします。

登録用紙の記入は不要です。

#### ・直接お越しの方

ご予約は不要です。

登録用紙をダウンロードしてご持参  
ください。